

OUR VALUE



Case 1

代表取締役 執行役員社長
井上 晃夫

みんなの「夢」と「想い」を形にできる会社にする

2024年1月にThe New York Timesが発表した「52 Places to Go in 2024」では、日本の「山口市」が選出されました。私は山口県の山と海に囲まれた町で生まれ育ちましたが、田舎には変わらない良さがあり、美しい環境をいつまでも後世に残していきたいと思っています。明電グループは、より良い社会づくりを目指して100年以上の間、お客様に製品・サービスをお届けしてきました。その理念のもとに集まった仲間の「夢」と「想い」の一つひとつが、この先の未来をより良いものへ変える力だと信じています。今はまだ形になっていない「夢」を形に変え、価値として提供することが明電グループの使命であり、お客様と共にワクワクする未来を創造していくことが、私の「夢」であり、「挑戦」です。

トップメッセージ ▶ P.03

明電舎 経営企画本部 サステナビリティ推進部
価値共創Lab.プロジェクト

田中 力**誰もが誰かのために共に生きる**

私は、障がいの有無に限らず共通の作業をすることが、相互理解につながると考えています。誰にでも「弱さ」はあります。私は聴覚に障がいがありますが、人により弱さは様々。共通の仕事をする中で、お互いの弱さを知り、それぞれができることをやるという相互補完が生まれ、より大きなことができます。「障がいに応じた合理的配慮が浸透した社会」、「お互いが迷惑をかけあうことに抵抗感がない」など、明電舎の事業を通じて、「誰もが誰かのために共に生きる」社会づくりに貢献していきたいです。

ものづくりに付加価値を生む価値創造ストーリー:1 ▶ P.35



Case 3

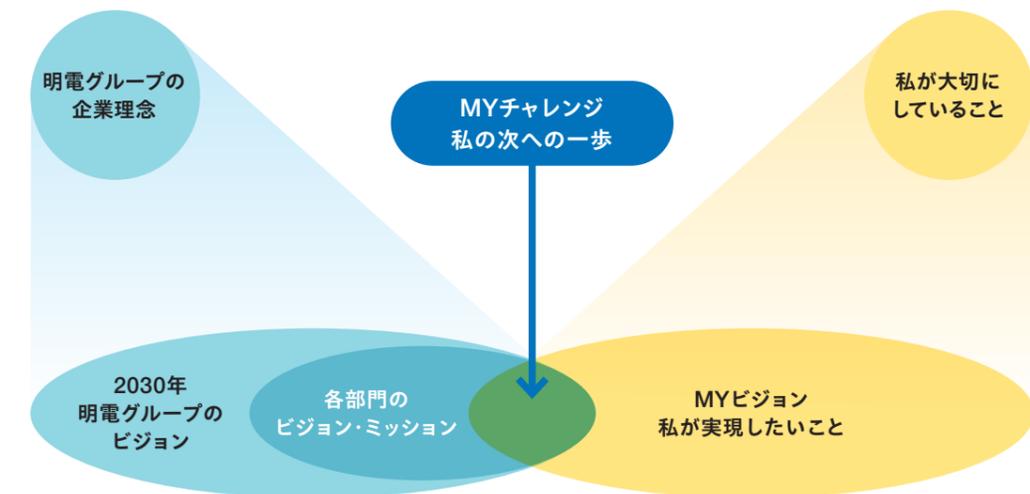
価値創造の源泉

わたしの MYビジョン・MYチャレンジ

明電グループが掲げるビジョンの実現のために重要なのは、それを実践する多様な人財です。一人ひとりがイキイキとやりがいを感じながら働くことが、企業価値の向上につながります。ここでは、明電グループで働く4名の「MYチャレンジ」についてご紹介します。

Myビジョン・Myチャレンジって何？

「MYビジョン・MYチャレンジ」は、自身の人生のビジョンを見つめ直し、会社のビジョンと照らし合わせる作業を通じて、各人が明電グループの中で何にチャレンジをしていくかを言語化する取組みです。従業員が実現したい「MYビジョン」と明電グループのビジョンが重なり合う部分から、どんな「自分の次の一歩」を踏み出せるのかを考えた「MYチャレンジ」。明電グループというプラットフォームを通じて、そのチャレンジに取り組み、実現していくことを会社は後押ししていきます。



明電舎 プラント建設本部 工事管理第二部
東日本工事事務部 関東工事第一課

佐藤 夏海**お客様から信頼されるプラント設備を届けたい**

下水処理施設の現場で働いていると、きれいな水資源を保ち、市民の生命・財産を水害から守るために尽力されているお客様の姿を、間近で見ることができます。お客様のために私たちにできることは、安心して運用できる設備を納めることです。私は日々の業務の中で「気づき・スピード・レスポンス」を大事にし、お客様から信頼される現場代理人を目指しています。また、プラント建設本部では女性の技術者も増えてきていますので、性別に関わらず、皆にとって働きやすい現場環境を整えていきたいです。

Case 2



ものづくりに付加価値を生む価値創造ストーリー:2 ▶ P.37

明電舎 電力機器工場 変圧器ユニット 製造課

小野 留汰**日本とインドがお互いに理解し、最高の品質を創る**

インドからの業務応援者の通訳も担当する私は、インド独特の文化や宗教観などを考慮し、作業内容をただ翻訳するのではなく、なぜそれをするのかという理由も説明するなど、双方の「想い」を大切にしています。今はスマホで簡単に通訳もできますが、現場では言葉の変換だけでは伝わらないことも多く、相手が納得して理解するよう橋渡しすることが私の役割です。今後も日本とインドの架け橋となり、高品質な製品を安定して世の中へ提供する環境づくりに貢献したいです。

Case 4



ものづくりに付加価値を生む価値創造ストーリー:3 ▶ P.60